
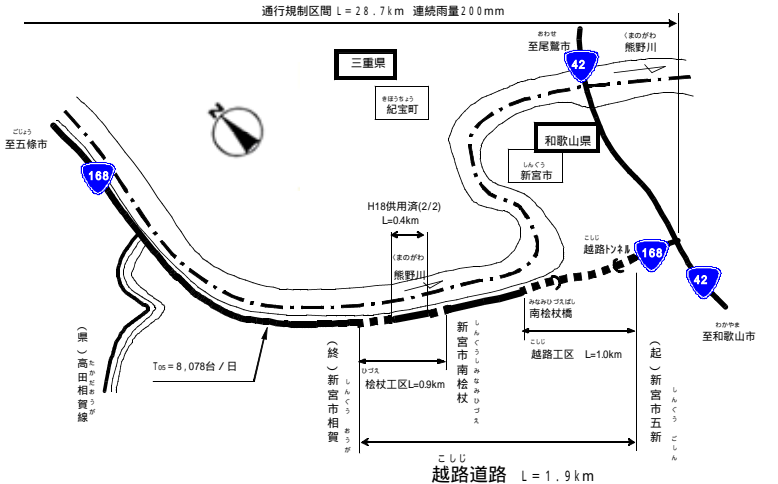


再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：下保 修

事業名 地域高規格道路 一般国道168号 越路道路	事業区分 一般国道	事業主体 和歌山県
起終点 自：和歌山県新宮市五新 至：和歌山県新宮市相賀	延長 1.9 km	
事業概要 一般国道168号は、和歌山県新宮市を起点とし、大阪府枚方市に至る延長約130kmの幹線道路である。越路道路は、一般国道168号の幅員狭小区間及び異常気象時通行規制区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的とした、延長1.9kmの2車線道路である。		
H10年度事業化	H10年度都市計画決定	H11年度用地着手
H12年度工事着手		
全体事業費	63億円	事業進捗率
		88%
		供用済延長
		0.4km
計画交通量 11600台/日		
費用対効果分析結果 B/C (事業全体) 1.5 (残事業) 9.7	総費用 (残事業)/(事業全体) 8.4/72億円 (事業費：6.9/70億円) (維持管理費：1.5/1.9億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 82/110億円 (走行時間短縮便益：89/113億円) (走行経費減少便益：-4.7/-2.7億円) (交通事故減少便益：-2.3/-0.53億円)
基準年 平成19年		
事業の効果等 ・個性ある地域の形成（主要な観光地（世界遺産熊野・本宮地域）へのアクセス向上が期待される） ・災害への備え（現道の事前通行規制区間を解消する）		
他6項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 国道168号は、周辺市町村の活性化、観光振興、救急医療・福祉の向上等の効果が期待されており、新宮市をはじめとする関係4市4町3村の首長及び議長で構成される国道168号（五條・新宮間）整備促進協議会より、当該路線の整備促進・早期完成の要望（平成19年8月21日）を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成16年に熊野・本宮地域が世界遺産登録され、交通量が5,948台/日（H11センサス）8,078台/日（H17センサス）と増加した。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 現在までに桧杖工区の0.4kmを部分供用している。また、残る越路・桧杖の2つの工区については用地買収を完了しており、越路工区はトンネル工、桧杖工区は路側工事を残すのみとなっている。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成20年度に越路工区、桧杖工区の完成供用を図り、事業を完了する予定である。		
施設の構造や工法の変更等 仮称新越路トンネルの断面形状見直しによりコスト縮減を図る。		
対応方針 見直しの上継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、残工事を実施しH20年度に事業を完了することにより、地域の課題が解消される。		
事業概要図		
通行規制区間 L=28.7km 連続雨量200mm		
		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。